

東京都健康推進プラン21（第二次）中間評価部会の報告について

1 中間評価部会の目的

平成30年度の健康推進プラン21（第二次）中間評価報告に向けて、健康日本21（第二次）中間評価報告書の検討状況や都関連計画の内容を踏まえながら、3領域14分野におけるこれまでの取組の進捗評価及び必要な見直しを行うとともに、今後の健康づくりの推進体制の充実強化を図る。

2 開催日程及び議事

開催日程	議事（予定を含む）
平成29年度第1回中間評価部会 （平成30年1月16日）	(1) 中間評価部会の進め方について (2) 65歳健康寿命の推移及び各分野の進捗状況について
平成30年度第1回中間評価部会 （平成30年5月14日）	(1) 中間評価の方向性とスケジュール(案)について (2) 中間評価報告書の構成(案)について (3) 中間評価報告書の骨子(案)について
平成30年度第2回中間評価部会 （平成30年8月22日）	(1) 中間評価の方向性とスケジュールについて (2) 中間評価報告書素案(たたき台)について
平成30年度第3回中間評価部会 （平成30年12月予定）	(1) 中間評価の方向性とスケジュールについて (2) 中間評価報告書(パブリックコメント案)について

3 全体を通じた主な意見

<ライフステージやターゲット（対象）に応じた施策展開>

- ◆ これまでの普及啓発に加えて、無関心層などのターゲットを絞った戦略も必要。
- ◆ 性別や年代別等に応じた分析を行い、テーラーメイドの対応ができるといい。
- ◆ 高齢化などの社会情勢の変化の影響も踏まえた評価・施策検討をすべき。

<健康づくり関係機関への支援>

- ◆ 区市町村での取組を集約して情報提供していくなどの、区市町村支援の視点も必要。

<関係機関と連携した施策展開>

- ◆ 施策展開に当たっては、地域や職域などの関係機関との連携が重要。

<中間評価・指標分析>

- ◆ 評価に当たっては、客観的かつ一定程度の共通した評価基準が必要。
- ◆ 今後の施策展開としてどのようなアプローチをしていくのかは、エビデンスに基づくべきであり、そのためにも、継続的に取れるデータを使って指標分析すべき。

<次期計画の策定に向けての提言>

- ◆ 総合目標である健康格差の捉え方の整理が非常に重要。健康格差の背景には、比較的介入しやすい健康の部分とそれ以外の部分（経済状況や社会情勢の変化等）がある。
- ◆ 次期計画策定の際にも、これらの考え方を整理したうえで反映してほしい。

➤ 上記検討内容を中間評価報告書や今後の取組に反映